

唾液（だえき）検査を受ける前と後 ～新型コロナウイルス感染症の検査とは～

新型コロナウイルス感染症の検査は、病院やクリニックだけでなく、無症状の人が町の中の検査センターや郵送などでも受けられるようになってきました。

このため「値段が違うけど大丈夫なのかな?」「もし陽性だったらどうすればいいのかな?」などの相談が増えています。

後で困らないように、検査をするときは事前に確認と準備をしましょう。

1. 国のガイダンスを守っているところで受けましょう

一口に「検査」といっても、実は同じではありません。

受ける人が困らないように情報提供したり、検査が陽性の場合に医療機関を紹介してくれるところで受けましょう。

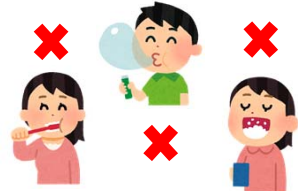


▲厚生労働省通知

2. 正確に結果が出るようにしましょう

検査を受ける場合、30分前から、次のことはしないようにしましょう。

▶ 飲んだり食べたりすること ▶ ガムをかむこと ▶ うがい、歯磨き ▶ タバコ



3. 結果が出た後は、適切に行動しましょう

※検査結果が出るまでは、陽性であることも想定して行動しましょう。

陰性の場合

引き続きマスク・手洗いの予防を続けましょう。



陽性の場合

出歩かずに自宅にいましよ（就業制限の対象となります）。
体調が普段と変わらないようであれば、普段通り、落ち着いてすごしましょう。

陽性の可能性が高い場合

検査センター（医療機関ではないところ）でPCR検査を受け、陽性の可能性が高いと判断された場合は、紹介された医療機関で相談しましょう。

「陽性」のときに困らないために

- 熱がでたときのため、解熱剤をもらっておきましょう。
- ふだん飲んでいるお薬が不足しないようにしましょう。
- 飲み物・食料を準備しておきましょう。
- 「濃厚接触」した人に連絡して予防・検査の情報を伝えましょう。
(※裏面を参照してください。)



ご自身が受けた検査とその結果については、**保健所ではなく、その検査を受けたところ**にお尋ねください

作成 みなと保健所 03-3455-4461※

※ 平日 8時30分から17時15分まで

監修 堀 成美（港区感染症専門アドバイザー）



～よくある質問～

Q1 検査するところによって値段が違いますが、検査自体はどこも同じですか？

「PCR検査」と書いてあっても、全て同じ検査というわけではありません。
また、前後の情報提供やサポート体制も違います。
検査をしているところに確認をするなど、よく調べてから受けましょう。

Q2 「陽性」ではなく「陽性の可能性が高い」と言われました。どういう意味ですか？

医師のいない（医療機関ではない）唾液を集めるタイプの検査所では、検査をしたデータの提供のみが可能です。

このような施設では、陽性の可能性が高い人に対して医療機関を紹介することを、国が指導をしています。

「診断」できるのは医師のみです。

Q3 症状がないので「念のため」の検査を希望しています。何か注意点はありますか？

感染しても症状がほとんど出ない人もたくさんいること、その場合でも他の人にうつる可能性がありますので、陽性の場合の対応も準備をしておきましょう。それにより、慌てずに済みます。

なお、どの検査においても、100%確実な結果がでるわけではありません。

特に、全く症状がない・感染した人とマスクなしで会食したりしていない場合は、結果が正確にでないこともあります。

結果が陰性であっても、引き続き感染予防を続けてください。

Q4 自分が陽性だった場合、家族や職場の人はどうすればいいですか？

マスクをしないで近い距離で会話をした、一緒に食事をしたような場合は、「濃厚接触者」になることがあります。

<目安：【マスクなし】【1メートルの距離】【15分以上の会話】>

この場合、感染しているかもしれないと想定して、一定期間は外出などを控え自宅にいていただくよう協力を依頼されます。

検査を希望する場合は、医療機関や保健所で受けることができます。

※ 健康観察期間は2021年1月現在、14日間です。

港区では新型コロナについて役立つ資料や動画を作成しています。
表面のQRコードから港区のホームページをご参照いただき、是非ご利用ください。